　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成30年7月10日

平成30年度関東東海北陸農業試験研究推進会議

関東東海北陸水田作畑作・作業技術部会

冬作研究会開催要領

部会長　　中央農業研究センター　　　　　生産体系研究領域長　吉永悟志

　　　　　　　　　　　副部会長　次世代作物開発研究センター　　稲研究領域長　　　　山口誠之

副部会長　農業技術革新工学研究センター　革新工学研究監　　　細川　寿

副部会長　中央農業研究センター　　　　　作物開発研究領域長　荒井治喜

１．趣旨

　大麦では，もち麦をはじめとする各種国産大麦の需要が高まっており，これに対応した安定生産や品質の安定化が重要な課題となっている．そこで，実需の求める麦種別の品質や安定生産のための産地化への取り組みについて，情報交換を行う．また，麦類の高品質生産に関する昨年度の検討を踏まえ，小麦の子実タンパク向上のための肥培管理法について整理し，現場での指導に資するための検討を行う．さらに，麦類の品種育成に関する情報交換および情勢報告を行って地域内での情報共有と連携の促進，研究の効率化を図ることとする。

２．開催日時　平成３０年９月１２日（水）１３：１５～１３日（木）１２：００

３．開催場所　農研機構　第１本館１階大会議室（茨城県つくば市観音台3-1-1）

　　　　　　　（旧中央農業研究センター大会議室）

４．議　　事

９月１２日（水） 13:15～17:15

　　１）開会挨拶

　　２）重点検討事項の検討

（１）「大麦に求められる品質と産地化への取り組み」　13：20～15：10

①話題提供：大麦を利用した製品開発と求められる品質，生産物確保の取り組みについて

＊豊橋糧食工業株式会社 専務取締役　伴野公彦

　　＊大麦工房アグリ 　センター長　中村聡

②各地における大麦生産の産地化への取り組み事例（県からの事例紹介）

（２）「小麦の子実タンパク制御のための施肥管理」　15：30～17：15

①話題提供：小麦子実タンパク制御の方向性（仮）

＊農研機構・中央農業研究センター北陸研究拠点　島崎由美

②各県における小麦の子実タンパク制御のための取り組み状況

　　　③子実タンパク向上技術の整理（総合討議）

９月１３日（木）　9：00～12：00

　　３）新品種候補、新配付系統と品種決定に関する情勢報告

　　４）その他

５．参集範囲：農林水産省関係部局および農林水産技術会議事務局、関東農政局、東海農政局、北陸農政局、関東東海北陸地域都県農業関係試験研究機関、普及機関及び行政部局の関係者、次世代作物開発研究センター、中央農業研究センター、その他部会長が必要と認めた者

６．連 絡 先　（事務局）

　　農研機構　中央農業研究センター　生産体系研究領域 松崎守夫

　　電話：029-838-8852

E-mail: kanto-suiden@naro.affrc.go.jp

７．その他

　　資料作成、参加申し込み、その他については、別途事務局より連絡する。